

令和3年3月11日  
学 務 課

## 学校給食における放射性物質の検査について

### 1 実施体制の変更

平成24年7月以来、学校給食用食材等の検査を実施してきたが、基準値を上回る放射性物質が検出されていないことや、現在の国や各自治体の検査体制を踏まえ、関係課（生活衛生課・保育課）と協議の結果、区が実施してきた食品中の放射性物質検査については、令和2年度をもって終了し、国や自治体の放射性物質検査情報の定期的モニタリングに替える。

### 2 食品の安全確保への取り組み

(1) 農畜水産物や市販食品の食品中の放射性物質検査に関しては、国や各自治体において、検査結果や出荷制限等の情報が提供されている。以下の情報を定期的にモニタリングすることで、食品に関する放射性物質関連情報や出荷制限情報を把握する。

- ① 東京都の検査結果（市販流通食品、農畜水産物）
- ② 東京都健康安全研究センターのホームページで公開されている近隣9都県市（埼玉県、千葉県、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市）の放射線関連情報
- ③ 消費者庁や厚生労働省のホームページで公開されている農畜水産物に関する出荷制限情報

(2) 突発的な事故に対応できるよう、検査の実施体制は引き続き確保する。

(3) 学校給食用牛乳については、学乳協議会が行う検査結果の確認を継続する。

### 3 令和2年度 学校給食における放射性物資検査結果

(1) 学校給食用食材

- ① 検査対象 野菜・いも類・果物、1回につき3品目
- ② 検査回数 月2回

※新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休業のため、  
年間19回実施予定

- ③ 検査方法 ヨウ化ナトリウムシンチレーションスペクトロメーターによるスクリーニング検査
  - ・給食使用日の前日午前から検査実施、同日午後結果判明
  - ・検査の結果、基準値（測定下限値：セシウム合計25Bq/kg）を超えた食材は、翌日の使用を中止するとともに検査機関による確定検査を実施
- ④ 検査機関 江東区保健所（生活衛生課試験検査係）

- ⑤ 検査項目 セシウム134・137、ヨウ素131
- ⑥ 検査結果（2月10日現在） いずれも基準値未満（< 25Bq/kg）
  - ・検査数 48検体
  - ・主な食材 30種類（玉ねぎ、きゅうり、ごぼう、じゃがいも、人参、長ねぎ、ぽんかんなど）
  - ・主な産地 長野、北海道、千葉、青森、埼玉、栃木、茨城、群馬、高知、佐賀、青森、静岡、愛媛、岐阜、熊本、神奈川、長崎
  - ・1校当たり平均該当数 6.3品目
- ⑦ 結果公表 区ホームページに掲載

(2) 学校給食用牛乳

- ① 検査回数 年4回実施予定（6、9、11、2月）
  - ※新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休業のため、4月は実施せず
- ② 検査方法 ゲルマニウム半導体検出器による検査
- ③ 検査機関 公益財団法人 日本乳業技術協会
- ④ 検査項目 セシウム134・137
- ⑤ 検査結果（2月10日現在） いずれも測定下限値未満（< 50Bq/kg）
- ⑥ 結果公表 区ホームページに掲載